

第 62 回日本リハビリテーション医学会学術集会のご案内

第 62 回日本リハビリテーション医学会学術集会が、2025 年 6 月 12 日（木）～14 日（土）に国立京都国際会館で開催されます。すでに会員の皆様には渾身の作である「開催概要集」が届いていると思います。ぜひ熟読して学術集会のプランを立て、宿泊予約はお早めをお願いします。本記事では、会長を務める京都府立医科大学大学院リハビリテーション医学教授の三上靖夫先生に、学術集会の魅力についてうかがいました。

開催概要

第 62 回日本リハビリテーション医学会学術集会

テーマ：精力善用 自他共栄

会 期：2025 年 6 月 12 日（木）～6 月 14 日（土）

会 場：国立京都国際会館

Q 学術集会のテーマ「精力善用 自他共栄」について

今回のテーマは、柔道の創始者 嘉納治五郎先生が柔道の修行の目的に掲げた「精力善用 自他共栄」です。鍛えた心身の力を有効活用し、他者や社会との協調を通じて人や社会に貢献することが、医学研究や臨床にも通じると考え、この言葉を選ばせていただきました。基調講演には、この言葉を校是として個々の力を最大限に発揮し、グローバルな人材の育成を実践する灘中・高校元校長の和田孫博先生を迎え、私の会長講演でもこの理念に触れる予定です。ポスターには学生時代の自分の写真を載せ、高校時代の同級生の書家・神田浩山先生にテーマを揮毫してもらいました。

Q 文化講演、特別講演などが多彩で講師の顔ぶれも魅力的ですね。これだけの講師を集めるためにかなり苦労されたのでは？

本学術集会では、多面的な視点からリハビリテーション医学・医療を考えていただくために、医学の他分野や医学以外の場で活躍する医学会会員以外の先生方を特別講演にお呼びしました。教室スタッフ自身が、普段行かないような学会や研究会にも参加し、自分たちが講演を聴きたい講師候補をリストアップして、2 年前から講演の依頼をしてきました。文化講演では、『京都ざらい』で新書大賞を受賞された井上章一先生が「京都人の教育観」と題し、難解な京都人について面白いお話を聴かせてくださいます。筑波大学の柳沢正史先生には、「睡眠の謎」に迫る脳科学の最新研究をご紹介いただき、ALS 治療・研究の第一人者・和泉唯信先生は、自身の柔道経験をも

とに「難病治療法開発」の歩みを語られます。また、国連で女性差別撤廃委員会委員長を務められた弁護士・林陽子先生には、「ジェンダー平等」をテーマに、日本の課題を国際視点で分析していただきます。テクノロジーと医療の未来については、AI や VR を活用した医療革新について、松原仁先生（京都橘大学）らが「リハビリテーション医療と DX」をテーマに講演されます。日本大学の森中慎也先生には、ベテランアナウンサーとしての経験を踏まえ、「上手なコミュニケーションの取り方」をお話いただきます。さらに、郡司芽久先生（東洋大学）は「麒麟の進化と運動器疾患」を解剖学的視点から解説されます。このように多様な専門家が集う特別講演で学んだことを「自他共栄」に活かしていただけることを期待しています。

Q 特別企画も前例のない新しい挑戦といえる内容ですね！

特別企画では、教室スタッフがやってみたいと思う企画を具現化しました。

特別企画 1「言葉って何だろう？」は、言葉の本質と多様なコミュニケーション方法に焦点を当て、さまざまな言葉とその障害、治療を通して言葉とはどのようなものなのか、その本質に 3 日間連続で迫ります。構音器や受容器に障害のある方々にご登壇いただく座談会は、さまざまな障害と対峙するリハビリテーション科医必見の企画になると思います。メインホール前の巨大な展示にもご注目ください。

特別企画 2「私たちはどこまで地域に迫れるか」では、リハビリテーション医療と地域共生社会について掘り下げます。1 日目は、障害者運動の歴史を振り返りながら、各地域で「体を張って」活動する実践



会長の三上靖夫先生

者たちが集結し、社会の障壁を乗り越えたリアルな経験の共有から地域共生のあり方を探ります。映画の上映も予定され、本企画の課題を実感できると思います。2日目は、関連専門職が「地域でどのように活躍できるか」に焦点を当て、多職種によるシンポジウムと座談会が繰り広げられます。

特別企画3「先進技術が切り拓く新時代のリハビリテーション医学・医療」では、最前線のテクノロジーと医療の共生を2日間にわたって探ります。1日目は「AI・VR・メタバースで何ができる？」を、2日目は「AI・DX とリハビリテーション医療」に焦点を当てます。

特別企画4「アイデア善用」はコンテスト企画です。全国からご応募いただいた40件近くの日常診療ですぐに使えるようなアイデア・工夫を展示会場でご覧いただけますし、アプリ上でも確認できるように準備をしています。参加者の投票により、優秀作品を選出し、表彰させていただきます。

特別企画5「教育最前線」では、専攻医が多く入局している教室の先生方から人気の秘訣を学ぶ一方で、若手リハビリテーション科専門医たちの悩みやホンネを聞き出して、全国のリハビリテーション科専攻医、専門医、指導医が互いの教育プログラムを知り、より良い教育内容を考える場を提供することを目的としています。

Q 会場参加ならではのお楽しみイベントがありますか？ 噂では、柔道着姿の等身大の三上会長のパネルが会場入り口でお出迎えされるとか……とても素敵なフォトスポットになりそうですね？

先日、身長を聞かれました(笑)。教室スタッフの提案は自由に進めてもらっています。今回の学術集



学術集会開催概要集表紙

会では、学術的な議論だけでなく、楽しみながら交流できる企画が盛りだくさんです。6月13日(金)の全員懇親会は、同志社大学応援団のパワフルなパフォーマンスで幕を開きます。迫力満点の演舞で、会場のボルテージを一気に引き上げます。そして地元・京都祇園の名物「お古乃美焼」で知られる壹銭洋食が、展示会場に特別出店します。学びの合間に、京都の味をぜひご賞味ください。また、新たな試みとして、全国の専攻医同士が気軽に交流できる企画を、教室の専攻医が準備してくれています。6月14日(土)13:15~15:25、カフェテラス(イベントホール中2階)で開催します。タイトルの「全国リハビリテーション科専攻医交流会(指導医立ち入り禁止)」のとおり、指導医は立ち入り禁止!だからこそ、ざっくばらんに話せる空間がここにあります。さらに、「Try and Error 症例検討会(グループワーク)」と題した教育企画として、多職種による症例検討会を3日間、第13会場で開催します。期間中、毎日異なる症例を扱うので、のぞくだけでも大歓迎! 学びの場としてぜひご参加ください。

学術集会の見どころを各SNSに続々とアップしていますので、是非、フォローしてください。SNSでプロ顔負けの素晴らしいデザインを一手に請け負っている大橋鈴世准教授がスライドを作成するためのテクニックを伝授するハンズオンセミナーを2日目の第1会場で担当します。机のある会場ですので、ご自身のパソコンを持ってお集まりください。

(文責 広報委員会)